



Careoth People Stories

ゆうゆう

YUYU



介護職のリアルを教えて！ 若手社員がホンネトーク

～「ゆうゆう」入社 1 年目社員座談会～



森 沙奈さん
(ゆうゆう奈良津)

谷本 拓哉さん
(ゆうゆう上安井)

高賀 結衣さん
(ゆうゆう御幸)

片山 透弥さん
(ゆうゆう国府)

尾川 優奈さん
(神谷川・せせらぎ)

介護福祉施設「ゆうゆう」で働く5人が集まり座談会を実施。全員2025年4月入社超若手社員です。同期ならではの和やかな雰囲気の中、介護職を志したきっかけや仕事のやりがいをお話いただきました！



なぜ介護職に就こうと思ったのですか？

尾川 ひいばあちゃんが歩くのを手伝った時に「いつもありがとね」って言うてもらえたのがうれしくて、高齢者を支える仕事をしたいと思うようになりました。

高賀 転んでベッド生活になったひいじいちゃんに、ご飯を食べさせてあげた時の「ありがと」の言葉がうれしかったです。

森 おじいちゃんが病気で倒れ、認知気味にお世話するうちに介護の仕事に興味が出てきました。

谷本 介護職をしていた母親の会社の夏祭りに参加した際、高齢者と話したのが楽しかったからです。

片山 高齢者も子どもも好きで、社会福祉士を目指していました。介護の現場を知っておきたいと介護職へ。

—— **キャラオスを選んだ理由を教えてください。**

尾川 会社の温かい雰囲気に惹かれました。

谷本 人事部長の人がとても話しやすく、働きやすそうな会社だと感じたからです。

高賀 「人を心でケアし、人と人をつなぎ、人を支えていく」という理念がいいなと思ったからです。

森 保育園から介護まで、トータルサポートしている事業の幅広さです。

片山 海外に事業展開しているのも魅力的でした。



仕事のやりがいを感じるのどんな時ですか？

森 食事の介助、トイレ誘導、送迎など仕事内容は幅広く、日々できることが増えていくのがやりがいです。

高賀 トイレや入浴の介助後に「気持ちよかったです」と笑顔で言ってもらえた時や、利用者さんに名前を覚えてもらった時はうれしいですね。

谷本 わかる！認知のある利用者さんから「谷本くんありがと」と言ってもらえた時はうれしかったです。

尾川 レクリエーションの後、「楽しかった」「またやって」と言われると、次はもっと楽しんでもらおうとやる気がアツプします。

片山 利用者さんの言葉や笑顔が仕事のモチベーションにつながっています。人が好きなら楽しい仕事ですね。

森・高賀・谷本・尾川 楽しい！

座談会で感じたのは、全員が介護の仕事に前向きに取り組み、明確なビジョンを描きながら働いていること。「利用者さんを喜ばせたい」「自分も成長したい」という想いが伝わってきました。「ゆうゆう」そしてキャラオスの未来は君たちの手の中にある！



子どもたちへ「誇れる思い出」を!

夢門塾×カープ交流イベントが今年も開催

夢門塾で毎年恒例となっている、カープ選手との交流イベントが12月22日に行われました!今回で9回目となるこのイベントは、社長自身の幼い頃の思い出がきっかけとなって始まりました。地元である府中に訪れたカープ選手にサインをもらった時、ただ嬉しいだけでなく「野球というコミニティに所属していたからこそ、憧れの選手に会えたんだ!」という誇らしさとして心に刻まれたそう。その体験が原点となり、夢門塾に通う子どもたちにも「ここに通っていたからこそ得られた特別な思い出」を届けたいと考えました。目指すのは、子どもたちが大人になった時に、夢門塾を誇れる場所だったと胸を張れるような体験づくりなのです。



サイン入りの横断幕の前にカープポーズを決める子どもたち。



ドキドキの抽選会

質問コーナーでは素朴な疑問に選手たちが思い出で応え、高信二二軍監督の「インベーターゲームに夢中で野球が下手に話に会場は大爆笑。抽選会ではサインボールに加え、玉村昇悟投手の着用したアンダーシャツも登場し、名前を呼ばれた子どもはプレゼントを抱きしめ大喜び。



笑いと感動があふれた
質問コーナーと
サプライズに沸いた抽選会



左か玉村昇悟投手、高信二二軍監督ら植田幸弘元コーチ

想いの詰まった交流会は選手登場で一気に熱気に包まれた。エレベーターから現れたのは玉村昇悟投手、植田幸弘元コーチ、高信二二軍監督。歓声の中、温かな言葉が贈られ、会場は笑顔と和やかな空気に満ちた。



カープ選手来訪!
夢門塾が歓声と笑顔に
包まれた一日



キャッチボール体験では現役投手に球を受けてもらう貴重な体験に感動!

子どもたちが心待ちにしていたキャッチボールでは、玉村昇悟投手と直接ボールを交わす夢の時間に目を輝かせて挑戦。いい球だね」と声をかけられ笑顔に。終了後は「力強かった!」「もっと投げたい」と感想が続々。悔しさも含め、この体験は心に残る誇りの一日となりました。



玉村昇悟投手と
夢のキャッチボール!
胸に刻まれた特別な時間

抽選で当たった子には玉村投手のサインボールをプレゼント!



交流を終えて高2軍監督・玉村投手・植田元コーチから感想をいただきました!

高信二二軍監督

「ほぼ毎年参加していますが、子どもたちが本当に元気で、逆に力をもらっています。チームもさらに成績を伸ばし、もっと喜んでもらえるよう頑張りたい」と笑顔で語りました。

玉村昇悟投手

「今年も招いていただき、子どもたちから大きなパワーをもらいました。「今年頑張ったね」と声をかけてもらえて本当に嬉しかった。2026年をもっと活躍して喜ばせたい」と笑顔で語りました。

植田幸弘元コーチ

「藤井社長とのご縁で始まり 9 回目。今では僕らが元気をもらう会。毎年この時期に会えるのが楽しみで、これからも長く続けたい。熱い応援に負けないよう見守りたい」と語りました。





Careoth People Stories

保育事業

CHILDCARE BUSINESS



笑顔と「ありがとう」で子どもたちとの信頼を築く。

新人保育士の一日に密着！

ライターのH です！今回はキャレオスが運営する『きらめき保育園 松永』（福山市南今津町）を訪れ、新人保育士さんの奮闘ぶりをお届けします。



◆きらめき保育園 松永とは？

0〜2歳児の小規模保育園。保護者と園が協働する「共育」を大切にしています。シームレスな園舎で異年齢交流が自然に生まれ、一体感のある温かな保育環境が特徴。定員20名に保育士8名を配置し、きめ細やかで安心できる保育を実現しています。



2025年新卒で入職した1歳児担当の中田つぐみ先生。理念「共育」に魅力を感じ、保護者と想いを共有しながら一人ひとりに寄り添う保育を実践。先輩の支えを受け、笑顔と思いを大切に子どもたちと向き合っています。

◆お誕生会

この日は1月生まれの誕生会。毎月、0歳児・1歳児・2歳児クラス合同で、その月に誕生日を迎えた子どもたちをお祝いします。最後は1月生まれのみんなで記念撮影♪

◆もちつきごっこ

手作りの杵と臼でお餅つきごっこ。段ボールや布で作られた本物そっくりの道具に、子どもたちは夢中です。取り合いもなく順番に楽しむ姿が印象的。「繰り返し返す中で、待てば自分の番が来ると理解してくれています」と中田先生。小さなお餅を獅子舞に食べさせる子どもたち。きらめき保育園松永は保育士の高い企画力も魅力です。行事遊びは活発に意見を出し合い、すぐ実行へ。中田先生も「否定せず、より良くする助言をもらえるので発言しやすい」と笑顔で語ります。



◆お昼寝の時間にミーティング

給食では、安全に配慮しながらよく噛んで食べることを大切に指導。「完食できた」という達成感を味わえるよう量を調整し、苦手な食材は一口から挑戦。子ども一人ひとりに寄り添い、楽しく食事できる時間を何より大切にしています。

◆受け渡し

お迎え時にその日の遊びや給食、友達との関わりなど成長を丁寧に共有。連絡帳や家族会など、わが子の成長に気づき喜べる機会が多いのも魅力です、と中田先生は語ります。



1日のスケジュール

- 08:30 出勤受け入れ
- 09:30 朝の会
- 10:00 お誕生日会
- 10:15 もちつきごっこ
- 10:30 外遊び
- 11:30 給食
- 12:15 ダンス・読み聞かせ
- 12:30 お昼寝
- 15:00 午後のおやつ
- 15:15~ お迎えまで自由遊び
- 16:00 受け渡し



中田 つぐみ先生

取材を終えて

取材で印象的だったのは、中田先生が日々「ありがとう」を伝えていること。遊びや片付け、給食の場面で見ると感謝を届け、信頼関係を育んでいます。連絡帳と日誌で言葉の温度も使い分け、丁寧なコミュニケーションを大切にしています。



Careoth People Stories

国際事業

INTERNATIONAL BUSINESS

VOL
03
2026

介護業界の未来を明るく照らし インドネシアに新たな風を巻き起こすために！ 大規模フォーラムを開催

開催概要

- 日付:2025年12月12日
- 場所:インドネシア・バリ島 デンパサール (アラマサヌールビーチホテル・コンベンションセンター)
- 参加者:合計800名超 (日本:34団体90名 / インドネシア:15団体40名)



「と現地で大きなインパクトを与えた、非常に珍しく貴重な場となりました。」

特別ゲストと歴史的な瞬間

労働省 移住労働者保護省幹部による共同登壇が実現。「日本の企業がこんな取り組みを！？」

日尼800名超が集結
バリ島で人材戦略フォーラム開催、両省幹部が同壇上に登壇

2025年度後期入学式

- フォーラム**
＜オープニング対談＞
労働省・Arfian大臣顧問
移住労働者保護省・Dwi総局長、Abriプロモーション局長
- ＜キーノートセッション＞**
①ALSOK介護の「人財確保・育成」と外国人介護士の考え方について
②他国における連携強化取組みとインドネシアへの期待
③持続可能な人材活用取組み～HRのグローバルスタンダード～
④送出国での業種特化人材育成取組みについて
⑤外国人介護士の定着活躍にむけたキャリアプランについて
⑥介護サービス進出～インドネシアでのキャリア形成への貢献～

- ＜分科会＞**
①地域の医療介護連携、医療法人としての海外進出
②送出国でのドライバー技能訓練取組み、「合宿免許サービス」紹介
③インドネシア政府保健省×自治体の介護人材育成連携取組み

調印式・感謝状贈呈

- ①基本合意書締結**
 - 日本介護福祉士の就労資格取得を目指した介護福祉士分野の医療専門家の養成 インドネシア共和国保健省×青森県×フジアカデミー
 - 運転技能を中心とした技能訓練校「フジアカデミー・ジュンプラナ校」の開校 ジュンプラナ県×フジアカデミー
 - 技能実習・特定技能候補者の募集、研修及び日本への就労配置に関する協力 PT.MIKALA×フジアカデミー
- ②感謝状贈呈**
 - フジアカデミー生徒に対する授業料全額免除 カイハラ産業
 - 送出国機関宛来日前費用の来日後払いサービスおよび金融教育サービスの提供 トラスト&トラスト



国際事業部 本部長 竹林さん

「今後の展望を教えてください。」
インドネシアには介護資格制度がなく、日本で資格や経験を得ても帰国後に活かさない現状があります。私たちは各省庁と連携し制度整備を進め、キャリアの断絶をなくしたいと考えています。一人ひとりの人生を預かる責任を胸に、日尼双方の介護と若者の未来に希望を生む取り組みを継続していきます。

「インドネシア人材と日本企業が幸せになる新たな価値創出」を掲げ開催。当初50名予定の日本側招待は最終150名に拡大し、大手企業も参加。保健省・労働省・移住労働者保護省も登壇し連携を強化。文化差による調整の苦労もありましたが、企画力と集客力を高く評価いただきました。

「2025年12月に開催されたフォーラムについて教えてください」
インドネシアに7校を展開し、4月には8校目を開校する日本語学校「フジアカデミー」を軸に、登録支援機関の運営まで一貫して外国人雇用を支援。累計入学者は数千名、2024年度は1,000名超。都市銀行との金融商品開発や保健省との連携を通じ、社会に価値を生む事業拡大を進めています。

「インドネシア現地では国際事業部としてどのような動きをしているのですか？」
「Bali Human Resource Strategy Forum」の総指揮官、インドネシア在住の竹林本部長にお話を伺いました。

国際事業部 本部長 竹林さん
インタビュー